
沼津情報・ビジネス専門学校のプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校は、学則にある「教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、衛生に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の深い近代的な中堅技術者を養成し、産業の振興に寄与する」ことが教育目標であり、卒業生は学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

国際ホテル・旅館科のプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

日本のビジネスの国際化が進むことで、日本企業の海外進出、海外資本の流入、顧客として、またビジネスパートナーとして外国人が増加しています。これにより、外国人とのコミュニケーション、言語の壁、商習慣の違い、異文化理解に対する取り組みが社会全体で求められています。

国際ホテル・旅館科では、社会で多国籍な他者とより良く関わりながら行動するための素地を養うことを念頭に置き、ホテル旅館業界で求められるサービスの品質要求の高さに対応できることを目標とします。そして、語学力、ビジネスマナー、サービス接遇、ホテル・旅行業、ICT、キャリア各科目を通して知識と技能を身につけ実践できる、総合的な能力習得を卒業の条件としています。

- [学びに向かう力・人間性]
異文化の中で他者と協働し、自らを高め学び続けることができる
 - [知識・技能]
ホテル・旅館業界で働くための基礎知識を身に付けている
 - [知識・技能]
業界で通用するビジネスマナーやおもてなしの心とスキルを身に付けている
 - [思考・判断・表現]
日本社会において、自らの知識を用いて課題解決に取り組むことができる
-